

令和３年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

事業名	スポーツをキーワードとした地方創生事業			担当課名	まちづくり推進課	
総合戦略における基本目標	■ 基本目標２　キタを体感する交流・定住と次代を担うひとづくりの推進 ■ 方向１　ひとを呼び込む「きたひろしまの魅力」発信					
事業始期	令和元年４月		事業終期	令和４年３月		
	令和元年度 決算 (１年目)	令和２年度 決算 (２年目)	令和３年度 決算見込み (３年目)			計
事業費	13,970千円	27,344千円	30,085千円			71,399千円
交付金充当額	6,985千円	13,672千円	15,038千円			35,695千円
事業の目的	地域に根付く地域スポーツや、自然・文化・食などの地域資源を活用し、交流・関係人口の拡大による地域経済の活性化と、町民のスポーツとの触れ合いを通じて、「生きがい」や「やりがい」を感じることでできる地域活性化を促進する。					
事業概要	■きたひろスポーツコミッション自立促進支援業務 委託先（一社）北広島町観光協会 委託金額１０，０１０，０００円（税込み） 事業目的本町の有する多様な地域資源を発掘すると共に既存の資源の磨き上げを行いスポーツと融合させ、商品及びサービスの開発を行い、関係人口及び交流人口の拡大を図り、地域の活性化及び地域経済を活性化させると共に、組織の運営に必要な人材などを育成・確保し、持続可能な組織体制を構築することを目的とする。また、本町の取り組む「きたスポ」の情報を広く発信し、その普及啓発を図り、誰もが健康で幸福感を感じることでできるまちをつくることを目的とする。 事業内容及び連携団体 ○連携団体（一財）どんぐり財団 ○連携項目①スポーツツーリズムの運営をサポートに必要な人材の育成・確保　②スポーツ合宿の誘致及び大会の企画・開催 ③障がい者スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大 ○事業内容●町内中学生を対象としたスポーツボランティアの育成講習会の開催　●スポーツアクティビティの先進地視察、カヤックのインストラクター育成・指導者検定受講及び漕艇訓練の実施（日本セーフティングカヌー協会検定員により聖湖で開催）　●町内運動公園及び宿泊施設を活用した、国内外の有名選手（実業団チーム・社会人・大学生など）のスポーツ合宿・スポーツ大会の開催（ソフトテニス「ＫＩＴＡＨＩＲＯＳＨＩＭＡＣＵＰ」）　●障がい者スポーツボランティア養成Ｗｅｂセミナーの開催　●障がいの有無に関係無く誰でも楽しめるウォーキングサッカーを活用した交流事業　●県内外のアンプティーサッカートップ選手を招いての交流大会の開催 ○連携団体株式会社　キッズカンパニー ○連携項目マーケティングや情報発信など専門的なスキルを活用し、組織を構築させ自立に向けた取り組みの促進 ○事業内容●観光協会・行政職員の選定メンバーによる町内の魅力発信・再構築・企画提言のためのプロジェクトチームの発足・主導　●新しい組織（スポーツコミッション含む）の政策戦略の提言 ○連携団体（一社）芸北道場 ○連携項目障がい者スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大 ○事業内容●パラ陸上選手（白砂匠庸氏）による町内児童・生徒を対象とした陸上教室＆ふれあい体験会の開催 ○連携団体（株）ちゅぴCOM ○連携項目町内を拠点に活動するトップアスリートの情報発信・スポーツをキーワードとしたまちづくりの推進 ○事業内容●どんぐり北広島ソフトテニスクラブの特集番組の制作・放送（YouTube含む）、市内での広告掲示、スポーツ番組への生出演企画 ○（一社）北広島町観光協会 ○実施項目①障がい者スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大　②日本版DMOへの登録を目指し関係団体との連携強化による組織づくり ○事業内容●障がい者を対象としたスポーツツーリズムを見据えたバリアフリー化されたスポーツ施設等の情報収集・発信（Ｗｅｂページ制作）　●DMO・地域商社への理解・今後の検討のための情報収集、学習の機会（Ｗｅｂセミナー講師：海士町役場交流促進課・海士町複業協同組合）					
■スポーツ施設等のバリアフリー化促進事業（繰り越し事業） 豊平総合運動公園屋外トイレ改修・増築工事 工事発注先（株）竹下建設 請負金額　１０，２０５，０００円（税込み）【完了払い金】 豊平総合運動公園のソフトテニスコート側の屋外トイレのバリアフリー化を促進するとともに、新規に更衣室を整備することで利便性向上による利用者の拡大を図った。 ■テニスコートスタジアム化事業 豊平総合運動公園テニス観客席改築工事 ①工事設計業務 委託先　　ＡＫ建築設計事務所 委託金額　１，０６９，２００円（税込み） ②改築工事 発注先　　（株）竹下建設 請負金額　８，８００，０００円（税込み） 観客席等の設置によりテニスコートをスタジアム化し、スポーツを「見る」、チームを「支える」ことを目的とした来訪者の増加を図った。						
令和３年度の取組と課題	令和３年度事業では、地方創生推進交付金事業の最終年度として、スポーツによるまちづくりのため設立した「きたひろスポーツコミッション」の自立・企画実行に向けて概要のとおり各種団体と連携し事業を実施した。また、スポーツを「見る」、チームを「支える」ことを目的とした来訪者の増加のため運動公園観客席の改築工事を行った。 【ソフト事業】 ●スポーツツーリズムの運営・「支える」スポーツのために実施した視察、インストラクター講習（カヤック）においては、町の強みである自然の豊かさに魅力を感じ、楽しんでいただく材料として「水」を活かしたアクティビティは大いに可能性があるという意見があった。今後は湖畔のカフェとの組み合わせ等、より魅力ある仕組みへカスタマイズしていく必要があり、安全性やガイドの訓練も実施していく必要があると考える。 ●ボランティア講習においては、ボランティアの意味を理解し、積極的に向き合う姿勢が感じられ、また、自分自身のスポーツ活動の中にもボランティアによって支えられているという気づきの発見により、ボランティア活動への参画意識の向上に繋がったと考える。学生期における授業の一環として、ボランティアを学び、学びを活かす場の創出・情報提供を継続して実施していくことが重要であると考える。 ●スポーツ合宿の誘致及び大会の企画・開催として実業団・学生・クラブチームの垣根を越えた日本一を決める大会を町内開催することで、北広島町を全国にＰＲでき、町内宿泊施設の滞在型として大会を組むことにより、地域経済の活性化にも寄与できた。 ●障がい者スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大として、 ①ウォーキングサッカー体験会を実施し、障がい者・健常者ともに楽しみ、その場に合わせたルールを参加者自ら考え実行する機会を通じて、障がいへの理解や関わり方を自然に学び体現したことで「心のバリアフリー」を身につけることができたと考える。体験・交流は教育面においても有効であると考え、幅広い層から特に幼児期から大学生までの学生等の参画を促進する必要がある。 ②障がい者スポーツ「アンプティサッカー」の全国のトップ選手を招いての交流大会を開催することで、競技の存在の認知、「見る」スポーツとしての楽しさを発見できた。また、アンプティサッカーの試合・練習が行える場所として廃校跡地の天然芝グラウンドの情報発信もできた。今後も全国の競技者や団体へ場所の情報提供や、地域住民を巻き込んでの交流拡大を図り、誰もが楽しめ輝ける居場所づくりに努めていく必要がある。					

令和３年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

③ 障がい者スポーツボランティア養成Ｗｅｂセミナーについて、東京パラリンピック日本選手団、出場選手、障がい者スポーツ団体、障がい者スポーツ協会の方々をパネリストに講演とシンポジウムといった内容で、障がい者ボランティア活動への「一歩」を踏み出せるきっかけづくりとして開催した。スポーツボランティア講習に参加した町内中学生を含む、約200名の参加があり、障がい者スポーツ選手・支える人たちの思い、経験談を直接聞く機会を創出できた。今後の課題としてボランティア活動へ一歩踏み出した方の継続意識をコーディネートできる人材、また、障がい者スポーツに興味を抱いた人たちがいつでも参加できる環境整備が必要であるとする。

④ パラ陸上選手（白砂匠庸氏）による陸上教室＆ふれあい体験会を通じて、同じ町内在住のパラアスリートからの指導や世界での体験談を聞いたことは、「北広島町」から「世界」へつながる道があるという夢や希望を与えられたこと、地域ヒーローを知るきっかけ、コロナ渦の状況下において思い切り遊べる場が限られていた子ども達にとって心身ともに充実したものとして、「スポーツ」というものが楽しいという実感として残ったことが効果として挙げられる。また、様々なスポーツ教室の定期的な開催による運動機会の需要が、子ども・特に保護者からも高いことが判明した。中学生・高校生への専門的な講師からのスポーツ教室と、運動習慣のきっかけづくりとしてのふれあい体験会等を上手く融合し、かつ継続的に開催していくことが必要であるとする。

⑤ バリアフリー化されたスポーツ施設等の情報収集・発信（Ｗｅｂページ制作）について、これまで、町内スポーツ施設のバリアフリー化情報を一覧できる媒体が無く、各施設へ問い合わせるか個別に検索するしかない状況であったが、Ｗｅｂサイトに専用ページを設けることで、町内スポーツ施設情報の検索が容易になり、また、施設と併せて身体障害者用トイレ付随の公衆用トイレの位置図も含めたものにしたことで、スポーツ・観光と一連の周遊が想定しやすい仕組みを構築できた。随時、情報の最新化に努めていく必要がある。

● 観光協会職員及びコミッション関係人員のDMO・地域商社への理解・今後の検討のための情報収集、学習の機会として、海士町の講師を招き、Zoomにて研修を行った。

● マーケティングや情報発信など専門的なスキルを活用し、組織を構築させ自立に向けた取り組みの促進として、外部人材の活用による町内の魅力発信・再構築・企画提言のためのプロジェクトチームの発足・主導を実施した。企画のための専門的な知識の提供、企画立案のノウハウの共有・指導を経て、今後のスポーツコミッションを含む町全体のまちづくりに取り組む人材の育成が図られた。また、スポーツコミッション組織をより自立させていくために、「地域商社」という分野を追加することによる、自主財源の確保や新たな地域資源の開発に向けての展開の助言・提言を行った。課題としては、スポーツコミッション組織を「スポーツコミッション」「観光DMO」「地域商社」の機能を併せ持った新しい組織として進化させていく方針に切り替えて進んでいく中で、行政及び関係団体との役割分担、内部整理等が十分でないため、官民一体となること、且つ、行政内の横のつながりを強化していくことが急務であるとする。

● トップアスリートの情報発信・スポーツをキーワードとしたまちづくりの推進として、「どんぐり北広島ソフトテニスクラブ」の特集番組の制作・宣伝を行った。強豪クラブとしての情報発信はこれまでも行われてきたが、これまであまり知られていなかった人柄や厳しくも温かい雰囲気が伝わる番組内容にし、地域密着型スポーツクラブとして、地域の誇りであると感じ、支えていきたい存在であるという機運の醸成を図るきっかけにつながったと考える。今度も引き続き、町内及び町外での短編動画の活用等で特集番組へのアクセスを誘導し、「どん北」・「北広島町」を知っていただく活動を継続していき、「北広島町のファン」獲得に努めていく必要があるとする。

【ハード事業】

豊平総合運動公園テニスコート横の観客席を改築工事を行った。屋根付きの観客席への更新により、大会観戦等の「見る」側にとっての快適性、安全性が確保でき、併せて夏場や雨天時の「する」側の休憩所としての活用も見込まれ、今後の来訪者・利用者の拡大につながった。

重要業績評価指標
（KPI）

1. 本町の入込観光客数の増加

KPI	事業開始前 （計画時点）	令和元年度 （１年目）	令和２年度 （２年目）	令和３年度 （３年目）	令和４年度 （４年目）	令和５年度 （５年目）	KPI増加分 （累計）
目標値（増加分）	1,743千人	10千人	20千人	30千人	30千人	30千人	120千人
実績値（増加分）	-	-48千人	-658千人	-725千人			

2. 本町の観光消費額の増加

KPI	事業開始前 （計画時点）	令和元年度 （１年目）	令和２年度 （２年目）	令和３年度 （３年目）	令和４年度 （４年目）	令和５年度 （５年目）	KPI増加分 （累計）
目標値（増加分）	28億円	0.5億円	1億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	6億円
実績値（増加分）	-	-2.5億円	-8.3億円	-14.3億円			

3. 北広島町スポーツコミッションが創出する新規雇用人数

KPI	事業開始前 （計画時点）	令和元年度 （１年目）	令和２年度 （２年目）	令和３年度 （３年目）	令和４年度 （４年目）	令和５年度 （５年目）	KPI増加分 （累計）
目標値（増加分）	0	0人	1人	1人	0人	0人	2人
実績値（増加分）	-	0人	0人	1人			

令和3年度の事業評価
（町による内部評価）

1. 計画の進捗状況

適切でない部分がある

・スポーツコミッションの自立に向け、令和３年度に計画した事業項目は、概ね遂行できたと考える。
ただ、スポーツコミッション機能を含んだ新たな組織へ進化させていくという方針転換による、次年度以降のスポーツによるまちづくりの体制整備が十分でないため、新たな組織と行政、そして関係団体との役割・連携の再確認が必要である。

2. 事業の効果

多少成果があった

・子どもたちが関われる事業（ボランティア活動・障がい者スポーツ体験・スポーツ教室）を多く実施でき、スポーツの楽しさ・多様性・誇るべき資源（ヒト・コト）を知り、学び、体感できた。

・町内の自然環境を活かしたアクティビティの開発、スポーツ大会による幅広い地域への町PRによって、町外からの誘客の拡大につながった。

今後の取組

（スポーツコミッション・観光DMO・地域商社）機能を含んだ新たな組織と行政、そして関係団体との役割・連携方法を確認しながら、これまでの事業で培ってきた経験・人材・環境を活かしながら、スポーツによるまちづくりの基軸として策定した「第2期北広島町スポーツ推進計画」の目指す姿“誰もが、住みたい・住んで良かった・住み続けたいまち”の実現に向けて事業展開していく。

令和 3 年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

事業名	担い手育成総合事業			担当課名	まちづくり推進課	
総合戦略における基本目標	■ 基本目標 4 地域資源を生かした活力あふれる暮らしの創出 ■ 方向 1 健康づくり・元気づくりの促進と地域づくりを担う人材の育成					
事業始期	令和元年 6 月		事業終期	令和 6 年 3 月		
	令和元年度 決算 (1 年目)	令和 2 年度 決算 (2 年目)	令和 3 年度 決算見込み (3 年目)	令和4年度 当初予算 (4 年目)	令和 5 年度 当初予算 (5 年目)	計
事業費	16,368千円	8,546千円	5,334千円	4,700千円		34,948千円
交付金充当額	8,184千円	3,640千円	2,667千円	2,350千円		16,841千円
事業の目的	一人ひとりが地域課題に関心を持ち、みんなで地域づくりをするという意識を持つことで、将来的に地域で活躍する複数人のキーマンを育成する。					
事業概要	1. 事業概要 北広島町は長期総合計画において当町がめざすまちの将来像として『新たな感動・活力を創る北広島～ひとのチカラがあるれるまち～』を掲げている。そして重点方針を『地域に根付き、未来を担うひとづくり』としている。「きたひろ学び塾～With」は『「学びから始まるひとづくり」の活動による、持続可能な地域社会』を理念に、「次世代を担う地域リーダーの育成」に向けた取り組みとして令和元年度から本格稼働した。 (1)事業のねらい 「学びから始まる人づくり」の活動による 持続可能な地域社会 これからもずっと元気な「きたひろしま」で在るために... 持続可能なコミュニティの実現 学ぶことを通じて地域の課題を知る。 地域に関心を持つことが、地域の活性化につながる第一歩となる。 守り、はぐくみ、伝えたい 地域への愛着醸成 住民が自ら行動することにより、地域の新しい魅力を発見したり作り出すことができる。 それにより地域のことがもっと好きになる。 みんなで持ち寄る知恵とワザ、みんなで取り組む「まちづくり」 多様なつながりの創出 『きたひろ地域づくりプラットフォーム』すなわち人や情報を結びつける土台を形成することにより、『自発的な地域づくり』の仲間の輪が広がる。 (2)事業のねらいと効果 地域への関心の向上と 地域課題の共有 ■地域課題の解決に取り組もうとする人材の育成のために、必要な知識・技術の習得を後押しする。 ■地域の課題を『自分事』として認識し、地域住民や公の組織が情報を共有できる環境を整備する。 横断的な取り組みの推進 ■公の組織が相互に繋がることにより、職員それぞれの知識や経験を活用する。 ■職員間で情報を共有する。 地域における取り組みの 活性化 ■学びを通じて地域課題に取り組む人材を育成する。 ■『きたひろ学び塾』で習得した知識・技術を活用した地域での取組みを活性化させる。 人のつながりと 情報共有の場の創出 ■民と民、官と官、そして民と官が連携することにより、『きたひろ地域づくりプラットフォーム』の機能を円滑かつ効果的に発揮させる。					

事業概要	2. 事業の特色 「きたひろ学び塾～With」は長期総合計画の5つの施策分野に基づき、「5学部6プログラム」で構成されている。この5つの学部のいずれかに各支所や消防本部を含む全課が振り分けられ、行政組織全体での取り組みを展開している。 ■「きたひろ学び塾～With」は全ての部署が連携して行う事業である。 ■学部運営やプログラムの企画・運営において、現在の所属課に囚われず、これまでの業務で培ってきた知識や技術を活用できる場となる。 ■官民連携にとどまらず、課や職員間の連携による「協働のまちづくり」が期待できる。 ■「きたひろ学び塾～With」はそれらの人と知識・技術・情報をつないでいく共有の場(プラットフォーム)の役割を果たすことができる。																																																																									
令和 3 年度の取組と課題	・令和2年度より新型コロナウイルスの影響もあり、計画に遅滞が発生。1クール目を総括した事業成果の評価も困難。 ・プログラムの開催が困難な状況下でも規制の合間を縫った活動により地域課題に取り組む意識のある住民の出現もある。（地域防災リーダー・プラチナ大学受講者・地域施工女性受講者増） ・特に「有害鳥獣対策」や「地域施工支援事業関連」など技術系のテーマは住民ニーズが高く、受講後住民による自発的な活動も発生しやすい。 ・一方、地域コミュニティ関連のテーマを掲げる学部は、効果が見えにくく方向性にブレが生じやすい。また、新型コロナウイルスによる行動制限等の影響も受けやすく、当初目標の達成に苦慮している。 ・これに対しコンサル（（株）YM-ZOP）は「PDCAサイクルを効果的に回し、随時方向性の修正をしながら継続した取り組みを進めていくべき」との見解を示している。「方向性の修正」には、テーマ変更も視野に入れ、「協働のまちづくり」においてきたひろ学び塾が担う役割を模索し明示することの必要性も含まれている。																																																																									
重要業績評価指標（KPI）	1. 人材育成プログラム受講者の満足度の向上 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1 年目)</th><th>令和 2 年度 (2 年目)</th><th>令和 3 年度 (3 年目)</th><th>令和 4 年度 (4 年目)</th><th>令和 5 年度 (5 年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値 (増加分)</td><td>-</td><td>60%</td><td>10%</td><td>10%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>80%</td></tr><tr><td>実績値 (増加分)</td><td>-</td><td>91.9%</td><td>8.10%</td><td>0.0%</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 2. 地域におけるワールドカフェ等の参加者の増加数 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1 年目)</th><th>令和 2 年度 (2 年目)</th><th>令和 3 年度 (3 年目)</th><th>令和 4 年度 (4 年目)</th><th>令和 5 年度 (5 年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値 (増加分)</td><td>200人</td><td>50人</td><td>100人</td><td>150人</td><td>0人</td><td>50人</td><td>350人</td></tr><tr><td>実績値 (増加分)</td><td>-</td><td>81人</td><td>24人</td><td>-25人</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 3. 地域活動団体等における活動実施件数の増加 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1 年目)</th><th>令和 2 年度 (2 年目)</th><th>令和 3 年度 (3 年目)</th><th>令和 4 年度 (4 年目)</th><th>令和 5 年度 (5 年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値 (増加分)</td><td>4件</td><td>6 件</td><td>8 件</td><td>10件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>34件</td></tr><tr><td>実績値 (増加分)</td><td>-</td><td>6 件</td><td>-1件</td><td>10件</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)	目標値 (増加分)	-	60%	10%	10%	0%	0%	80%	実績値 (増加分)	-	91.9%	8.10%	0.0%				KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)	目標値 (増加分)	200人	50人	100人	150人	0人	50人	350人	実績値 (増加分)	-	81人	24人	-25人				KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)	目標値 (増加分)	4件	6 件	8 件	10件	5 件	5 件	34件	実績値 (増加分)	-	6 件	-1件	10件			
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)																																																																			
目標値 (増加分)	-	60%	10%	10%	0%	0%	80%																																																																			
実績値 (増加分)	-	91.9%	8.10%	0.0%																																																																						
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)																																																																			
目標値 (増加分)	200人	50人	100人	150人	0人	50人	350人																																																																			
実績値 (増加分)	-	81人	24人	-25人																																																																						
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)																																																																			
目標値 (増加分)	4件	6 件	8 件	10件	5 件	5 件	34件																																																																			
実績値 (増加分)	-	6 件	-1件	10件																																																																						
令和 3 年度の事業評価（町による内部評価）	1. 計画の進捗状況 適切である 2. 事業の効果 成果があった ・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、可能な範囲で取り組みを継続している。 ・プログラムの開催が困難な状況下でも規制の合間を縫った活動により地域課題に取り組む意識のある住民の出現もある。																																																																									
今後の取組	・学部間連携によるプログラムのブラッシュアップ ・積極的な情報発信																																																																									

令和３年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

事業名	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト			担当課名	学校教育課	
総合戦略における基本目標	■ 基本目標２ キタを体感する交流・定住と次代を担うひとづくりの推進 ■ 方向２ ふるさとを愛する心と夢を育む教育の推進					
事業始期	令和３年４月		事業終期	令和７年３月		
	令和３年度 決算見込み （１年目）	令和４年度 当初予算 （２年目）	令和５年度 当初予算 （３年目）	令和６年度 当初予算 （４年目）		計
事業費	18,579千円	19,898千円				38,477千円
交付金充当額	8,698千円	9,949千円				18,647千円
事業の目的	持続的な地域活性化のため地元高校と地域の協働による魅力ある教育環境をつくり、地域資源を活かした豊かな学びを創出し、地域の将来を担う子どもを育成する。					
事業概要	１．事業概要 高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト １．地域みらい留学 (1)地方の魅力ある教育環境や受入体制について都市部等へのプロモーションを展開 ○WEB・広報宣伝費 1,754,265円 チラシ・パンフレットの作成、WEBページの作成、PR動画の作成等を実施 (2)都市部等で中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」を開催 ○開催負担金 880,000円 (一財)地域・教育魅力化プラットフォームが東京・大阪・名古屋・福岡で開催する「地域みらいフェスタ」への開催負担金等 ２．高校×地域 (1)地域と高校をつなぐことに特化した人材や専門スキル・ノウハウを持つNPO法人等を「魅力化コーディネーター」として育成・配置 ○専門人材の雇用又はNPO法人等への業務委託 1,249,040円 (2)地域住民の参画による課題先進地域をフィールドとした最先端の課題解決型学習、ふるさと教育やキャリア教育を実施 ○高校生が地域づくりに参画・挑戦する事業の実施経費等 715,146円 高校生が地域づくりに参画・挑戦する「地域課題解決型学習」や「多世代対話型交流学習」、「大学企業連携事業」「グローバルの視点からの課題解決型学習」を実施 ○高校生によるインターンシップの実施に係る児童生徒輸送費 115,000円 高校生による地域での就業観を醸成する「インターンシップ」を実施 ○小中学校での「ふるさと/キャリア教育」実施経費等 614,366円 高校での地域との協働による学びにしっかり接続し、より充実していくため、小中学校での「ふるさと/キャリア教育」の推進 (3)放課後等を利用し、地域の多様な大人が関わりながら、幅広い学力層の生徒の学習機会を提供 ○公営塾運営委託料 4,520,000円 (4)地域・学校・行政が連携し地域外生徒を受入れる体制を整備 ○市町村の交流・研修施設等の地域資源を最大限に活用した寮の運営 7,448,000円 (5)高校や地域の個性に応じた魅力と特色ある教育活動を応援するための財源「地域ファンドレイズ」の検討・導入 ○検討経費 100,000円					

事業概要	2. 事業の特色 学校・地域住民・行政が三位一体となって地域の諸活動に参画し、地域の特色を活かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、地域コミュニティの活性化を図る。 ■都市部等に向けて地域の魅力ある教育環境や受け入れ体制のプロモーションを展開 ■都市部等で中学生親子に向けた合同説明会への参画 ■都市部等の中学生親子を対象にした各高校での学校説明会・個別説明会の実施 ■高校生が地域づくりに参画・挑戦する「地域課題解決型学習」等の実施により生徒の満足度が高まる学校生活 ■高校生による地域での就業感を醸成する「インターンシップ」の実施 ■グローバルな視点を持ち地域課題解決に取り組む高校生育成事業の実施																																																
令和3年度の取組と課題	芸北分校は、県内外からの入学者数は増加傾向にある一方、芸北地域の生徒数の減少が見込まれることから、他地域の生徒からも選ばれる学校となるように、引き続き地域の特色を生かした魅力づくりが必要である。今後も地域活性化運営協議会を中心に地域活性化の一つの柱として高校存続に向けた取組を更に進展させていく必要がある。 公営塾の入塾生へのアンケート調査の結果、肯定的な回答が多く、生徒の進学に対する意識も高まってきている。今後は学校や塾の指導面において、生徒の進路希望を叶えるための取組が更に必要である。公営塾の存在が、千代田高校の魅力のひとつとなるような取り組みを実施し、進路希望が未定の生徒も含め、家庭学習時間を確保する意欲につながる取り組みが必要である。 千代田中学校から千代田高校への進学率が48.1％という現状であり、半数近くが他地域の学校へ進学しているという実績から、引き続き、地元中学校から選ばれる学校になるための積極的な魅力づくりに向けた取り組みが必要である。																																																
重要業績評価指標（KPI）	1. 地元高等学校数 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和3年度 (1年目)</th><th>令和4年度 (2年目)</th><th>令和5年度 (3年目)</th><th>令和6年度 (4年目)</th><th></th><th></th></tr><tr><td>目標値（維持）</td><td>-</td><td>3校</td><td>3校</td><td>3校</td><td>3校</td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値（変動分）</td><td>-</td><td>3校</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 2. 将来、北広島町に住みたいと思う中学校3年生の割合 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和3年度 (1年目)</th><th>令和4年度 (2年目)</th><th>令和5年度 (3年目)</th><th>令和6年度 (4年目)</th><th></th><th></th></tr><tr><td>目標値（増加分）</td><td>-</td><td>50％以上</td><td>50％以上</td><td>50％以上</td><td>50％以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値（増加分）</td><td>-</td><td>34%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※中学生全体の割合	KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)			目標値（維持）	-	3校	3校	3校	3校			実績値（変動分）	-	3校						KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)			目標値（増加分）	-	50％以上	50％以上	50％以上	50％以上			実績値（増加分）	-	34%					
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)																																												
目標値（維持）	-	3校	3校	3校	3校																																												
実績値（変動分）	-	3校																																															
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)																																												
目標値（増加分）	-	50％以上	50％以上	50％以上	50％以上																																												
実績値（増加分）	-	34%																																															
令和3年度の事業評価（町による内部評価）	<table><tr><td>1. 計画の進捗状況</td><td>適切である</td></tr><tr><td>・ 概ね計画通りの事業実施を行っている。</td><td></td></tr><tr><td>2. 事業の効果</td><td>成果があった</td></tr><tr><td>・ 地域と学校の協働により教育環境の向上につながっている。</td><td></td></tr><tr><td>・ 生徒ひとりひとりが進路実現に向けた意識をかため、学習意欲の向上が見られる</td><td></td></tr></table>	1. 計画の進捗状況	適切である	・ 概ね計画通りの事業実施を行っている。		2. 事業の効果	成果があった	・ 地域と学校の協働により教育環境の向上につながっている。		・ 生徒ひとりひとりが進路実現に向けた意識をかため、学習意欲の向上が見られる																																							
1. 計画の進捗状況	適切である																																																
・ 概ね計画通りの事業実施を行っている。																																																	
2. 事業の効果	成果があった																																																
・ 地域と学校の協働により教育環境の向上につながっている。																																																	
・ 生徒ひとりひとりが進路実現に向けた意識をかため、学習意欲の向上が見られる																																																	
今後の取組	引き続き、高校と地域の協働による地域の特色を活かした取り組みを実施し、魅力ある教育環境をつくり、地域の将来を担う子どもを育成する。																																																